

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

行政

岐阜県のいろんな顔を多くの方に伝えたい



竹中 久美子

観光資源活用課

H24年 採用 東濃振興局
H26年 観光課
H29年 政策研究大学院大学派遣
H30年 商工政策課
R 3年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

入庁前の職員像は、事務作業を淡々と行うイメージでした。しかし1年目の最初の仕事は、駅前でミナモと一緒に交通安全のキャンペーン。3年目の観光課ではメディアへの売り込みや撮影のお手伝いなども行いました。国や市町村、企業の方とも頻繁にやり取りをします。入庁前には想像できなかったほど外部と関わることが多く、仕事の幅も広がります。

現在の仕事内容を教えてください

東美濃エリアのPRやイベント実施、市町村等が行う観光振興事業の支援などです。県内外へ出張に出かける日もあれば、机の上で申請書とにらめっこの日もあります。観光部署への配属は現在で2度目。知らない観光地が多くガイドブックを読み漁った当初と比べ、同僚と議論をする余裕も生まれ、仕事楽しくなってきたところです。

働く環境についてはどう思われますか

私は2年間の産休・育休を経て、今年度から職場復帰をしました。復帰の不安をよそに子どもは4月1日から発熱。その後も繰り返し体調を崩しましたが、その都度周囲に温かくフォローしていただいています。子育て中の同僚も多く、育児に関する情報交換も気軽にいきます。不要な残業はせず、限られた時間で成果を出すことを目指す、適度な緊張感と連帯感のある職場です。

今後実現したい夢はなんですか

雪深い飛騨から日本一暑い東濃まで、愛車で県内あちこち旅をして、入庁前には知らなかった魅力に何度も出会いました。岐阜県は地域によってさまざまな顔があり、飽きることはありません。この楽しさを多くの方に知っていただけるよう、魅力を発信し続けていきたいです。

行政

業務を着実にこなし、岐阜県の魅力を高めることにつなげ、多くの人に関心を持ってもらいたい



安部 樹

公共交通課

H17年 採用 科学技術振興センター
H18年 研究開発課
H19年 イベント・スポーツ振興事業団派遣
H21年 公共交通課
H25年 議会事務局総務課
H27年 教育委員会社会教育文化課
H29年 文化伝承課
H30年 医療整備課
R 3年 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

大学進学をきっかけに、県外での生活をスタートさせましたが、その時初めて地元への愛着に気づくとともに、ゆくゆくは地元に関わる仕事に携わりたいと思いました。就職を検討する中、広域のかつ多岐に渡る分野で働くことができる岐阜県職員を志望しました。

仕事をする上で大切にしている考え方やポリシーを教えてください

仕事をする上で大切にしている考え方は「積極性」と「スピード感」です。仕事を進めていく上で、困難な事案に遭遇することもあります。そのような時こそ、気持ちを強く持ち、積極的かつスピード感をもって対応するよう、心がけています。

働く環境についてはどう思われますか

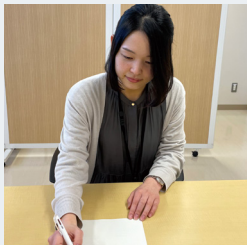
仕事上の悩みについて、相談しやすい雰囲気であるため、とても働きやすい環境です。これまでの仕事を振り返ると、自分1人では解決できない課題もありましたが、そのような時は、1人で抱え込むことなく、上司や同僚に相談することによって、課題解決につなげることができました。

今後実現したい夢はなんですか

県内外問わず、岐阜県のファンを増やすことです。これからも担当する様々な分野の業務を着実にこなすことによって、岐阜県の魅力を高めることにつなげ、多くの人に関心を持ってもらいたいと思います。

心理

いろいろな配属先や業務内容を経験しながら、広い視点でより良い支援ができるようになりたい



中島 詩絵里

中央子ども相談センター

H29年 採用 現所属

入庁して考え方が変わったことはありますか

入庁してから現在まで、中央子ども相談センター（児童相談所）の配属ですが、異なる業務に携わってきました。行政機関として、法律や制度に基づきながら、目の前の子どもや家族に寄り添い、その家庭に合った支援をする大切さを実感しています。

現在の仕事内容を教えてください

現在は児童心理司として働いています。児童相談所というと、虐待対応をイメージする方が多いと思いますが、実際は障害相談や非行相談など、内容は多岐に渡ります。児童心理司は、心理検査や面接を通して、子どもの特徴や、その家庭が抱えている問題を探りながら、支援の方向を考えます。また、児童福祉司や外部の関係機関と連携して、家族を取り巻く環境にもアプローチする役割も担っています。

働く環境についてはどう思われますか

対応する相談は深刻なものも少なくなく、自分の知識・経験不足を痛感し、思い悩む場面は絶えません。しかし、困ったときには、長年児童福祉分野で活躍されてきた上司や先輩が親身に助けてくださいます。また、心理関係の研修に参加できる機会が多く、働きながら知識やスキルを習得できる環境だと思います。

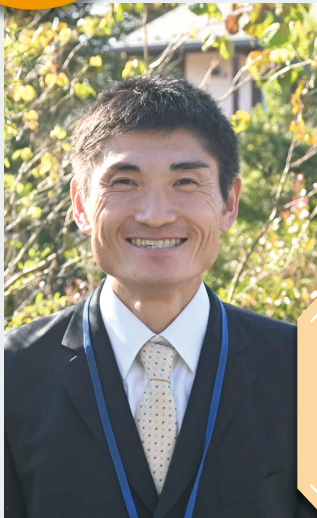
今後実現したい夢はなんですか

子ども相談センターをはじめ、県管轄の福祉機関など、岐阜県の心理職の活躍の場は様々です。いろいろな配属先や業務内容を経験しながら、広い視点でより良い支援ができるようになりたいです。

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

農学

取り巻く環境と先進技術を頭に入れ、
研鑽を積んでいきたい



長谷川 淳

国際園芸アカデミー

H17年 採用 郡上農業改良普及センター
H22年 飛騨農林事務所
H25年 農業大学校
H30年 東濃農林事務所
H31年 恵那農林事務所
R 3年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

面接では、「学生時代学んだことを活かして頑張ります!」と話したのを覚えています。いざ入庁すると、農学職は現場での普及指導や試験研究、農業事務と非常に幅広く、入庁後に学ぶ事の方が圧倒的に多いです。それでも、先輩職員からはフォローがありますし、農家の方も熱意さえあれば力を貸して下さる方ばかりなので心配ご無用です。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

農業大学校勤務時は、農業への関心と熱意のある学生に、講義やほ場での実習を通して、県の主要野菜の生理生態と栽培技術を教えていました。指導する学生たちが、野菜と同じく日々成長していく姿を目の当たりにでき幸せでした。また、普及指導員として生産現場を巡回する際に、第一線で活躍する卒業生の姿を見ると胸が熱くなります。

仕事とプライベートをどのように両立されていますか

『良い仕事は、良い私生活の上に立つ。』初任の頃教わり、以来、大切にしている言葉です。2人の子どもと過ごす時間や趣味のマラソン練習の時間は、心身のリフレッシュや思考の整理、時には新たな発想が浮かぶこともある大切な時間です。こうした時間を作り出すためにも、常に「効率」を意識して仕事にあたっています。

今後実現したい夢はなんですか

農業生産技術は常に進歩しています。どんな時も農家経営が上向き支援ができるよう、取り巻く環境と先進技術を頭に入れ、研鑽を積んでいきたいです。

畜産

農家さんが気軽に相談することのできる
県職員でありたい



野々村 遥

恵那農林事務所

H28年 採用 飛騨農林事務所
H31年 畜産研究所
R 3年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

県職員ということで書類仕事ばかりと思っていましたが、管内の畜産農家へ訪問したり、家畜市場に行って直接家畜を見る機会も多いです。また、畜産研究所や農業大学校での勤務も可能なので、技術系職員ならではの職場もたくさんあります。

現在の仕事内容を教えてください

恵那市及び中津川市を管轄とする現地機関で勤務をしています。飛騨牛の生産振興のために畜産農家を巡回したり、自給飼料を生産されている畜産農家または耕種農家を訪問して収量調査の手伝いをしたりもします。また、新規就農される方の就農相談・支援を行っています。

働く環境についてはどう思われますか

業務または私生活で困ったことがあれば周りの職員の方がいつでも相談に乗ってくれますし、休みも取得しやすいと思います。テレワーク用/パソコンを利用した在宅勤務やウェア会議も可能なので、柔軟性に富んだ働き方ができると思います。

今後実現したい夢はなんですか

岐阜県の畜産業は農家さんがいてこそですが、今後も岐阜県の畜産業が維持、発展していくためには、県を含めた関係機関との連携が必要です。農家さんが気軽に相談することのできる県職員でありたいと思います。

森林科学

「ぎふ木育」に関する活動が取り入れられ、
心豊かに暮らす社会を実現したい



長沼 慶拓

ぎふ木遊館

H17年 採用 飛騨地域農林商工事務所
H18年 飛騨農林事務所
H20年 県産材流通課
H23年 林政課
H25年 恵みの森づくり推進課
H28年 損斐農林事務所
H29年 岐阜農林事務所
H30年 地域振興課
H31年 現所属

岐阜県の魅力は何だと思われますか

「飛山濃水」と言われるように、標高3,000m級の山々から海拔0mの平野まで変化に富んだ地形と流れる大小の河川が色彩豊かな自然環境を形づくり、季節を変えて目を楽しませてくれます。また、東西南北の文化の分かれ目に位置し、様々なモノ・コトが交わる場所でもあります。この多様性やカオスは岐阜県の魅力といってよいと思います。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

恵みの森づくり推進課で、岐阜の森や木に誇りと愛着を持ってもらう「ぎふ木育」を担当し、県内の様々な実践者から意見を伺い、共通する理念をまとめた「ぎふ木育30年ビジョン」を作りました。翌年以降、ビジョンに沿って、実践者の交流会・研修会、木のおもちゃ導入補助事業の創設等を実現し、現所属の「ぎふ木遊館」開設につながったので印象深いです。

仕事とプライベートをどのように両立されていますか

仕事で得た経験や人のつながりはプライベートを楽しむうえでも役に立ちます。その逆も然りです。初めての子どもが生まれた時に「ぎふ木育」の担当になりましたので、自分の子育てをしながら、当事者目線で仕事のことを考えることができました。仕事とプライベートとの共通項を見つけ、自分事として楽しむことが大事だと思います。

今後実現したい夢はなんですか

仕事のうへでは、「食育」と同様に、全ての保育園・幼稚園・学校で「ぎふ木育」に関する活動が取り入れられ、心豊かに暮らす社会に近づくことです。個人的な夢は、多くの人が集まって自由に森を楽しむロッジを運営することです。

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

土木

水害によって
人命が失われることがない県土にしたい



清水 星

河川課

H19年 採用 恵那土木事務所
H22年 河川課
H25年 長良川上流河川開発工事事務所
H27年 河川課
H30年 大垣土木事務所
R 3年 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

高校時代に自転車で1時間かけて通学したことや、大学時代に岐阜市の路面電車が廃止されたことをきっかけに公共交通について考えるようになり、生活を支える社会資本整備に携わりたいと思い、県の土木職を志望しました。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

これまで河川やダム、砂防、情報システム関係の業務に携わってきました。印象に残っているのは、河川の水位情報等をメール配信する「ぎふ川と道のアラームメール」の導入に携わったことです。今では約2万人の方にご登録いただいており、県民の皆様の避難行動に繋がる情報発信ができているのではないかと思います。

仕事とプライベートをどのように両立されていますか

休日は子どもの野球少年団に参加し、一緒に声を出し、汗を流してリフレッシュしています。子どもが3人いますので、家事の分担など、同じく県職員の妻と協力し、父母の力も借りながら両立しています。

今後実現したい夢はなんですか

気候変動等の影響により水害が激甚化・頻発化し、今後もこの傾向が続くと見込まれています。治水対策や河川の水位予測の精度向上等のハード・ソフト対策により、水害によって人命が失われることがない県土にすることです。

建築

自分の携わった建物がどうだったのか
確かめながら、次の建物に生かしていきたい



島田 卓弥

県庁舎建設課

H22年 採用 飛騨建築事務所
H24年 公共建築住宅課
H28年 建築指導課
H30年 公共建築課
(※建築担い手育成支援センター)
R 2年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

入庁してまず驚いたのが、技術職であっても担当する仕事の種類が多いことです。建築職の主な仕事が、「建築指導」や「営繕」になるのは間違いないですが、啓発や補助金などの業務を担当することもあります。指導する立場であったり、発注者であったりと様々な立場で建築の業務に携わることができるのは魅力でもありと感じています。

現在の仕事内容を教えてください

私は現在、新しい庁舎の建設を担当しており、施工のための図面等の確認や工事の施工状況の確認、検査の立ち会いなどを行っています。規模が大きく、関係者が多いため、調整事項が多く、困惑する部分もありますが、おそらくこの先、これほど大きな工事を担当することはないため、1つ1つが貴重な経験だと感じています。

困難な事例があったときにどうやって解決されましたか

とにかく、一人で抱えず相談するようにしています。一人で考えつくことも限りがあると思いますが、相談してアドバイスをもらったり、議論したりすることで、解決策を見出すことができるとしています。特に建築職では上司や先輩が同じ仕事を経験していることが多いので、とても助かっています。

今後実現したい夢はなんですか

夢というか当面の目標になってしまいますが、まずは新しい県庁舎が無事竣工することです。竣工後も建物の使用者として、自分の携わった建物がどうだったのか確かめながら、また次の建物に生かしていきたいと思っています。

農業土木

「この人に任せれば大丈夫」と思ってもらえる
ような技術者を目指します



小森 千晴

西濃農林事務所

H27年 採用 揖斐農林事務所
H29年 郡上農林事務所
H31年 農地整備課
R 3年 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

「自分の生まれ育った岐阜で岐阜のために働くこと」これが、就職活動中、県内外の企業や官公庁を検討する中で分かった私の一番の価値観でした。そして、大学で岐阜県庁農業土木職の説明会に出席したり、工事を担当する職員と現場で話したりする機会もあり、岐阜県庁で働く姿を具体的にイメージできたことが大きかったと思います。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

特に印象に残っているのは、入庁して初めて担当した農業用排水路の改修工事が完成した際、地域の方から「きれいに直してもらえてよかった。」と声をかけてもらったことです。この他にも、小水力発電所建設工事で初めて発電を確認したとき、農道の舗装工事の完成した路面を車で走ったときなど、どの工事も完成した時のことはよく覚えています。

働く環境についてはどう思われますか

所属の方針にもよりますが、入庁1年目から工事の発注・監督などの業務を担当し、上司や先輩職員の指導を受けながら、実際の業務を進める中で仕事を覚えていきます。業務の進め方で分からないことや悩むこともありますが、職場の雰囲気も良く、相談しやすい環境だと思います。

今後実現したい夢はなんですか

これからもたくさん経験を積み、「この人に任せれば大丈夫」と思ってもらえるような技術者を目指します。そして、岐阜県の魅力ある農業・農村づくりに貢献していきたいです。

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

電気

経験と知識が豊富で緊急時にも冷静に対応できるような職員になりたい



牧野 大悟

東部広域水道事務所

H31年 採用 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

私は、地元である岐阜県内で自分の専門である電気の知識を生かしつつ、周りの人の生活を支えられるような仕事がしたいと思っていました。岐阜県職員に電気の専門職があることを知りました。水道、下水道等の生活を支えるインフラの分野で働くことで自分の希望をかなえたいと思い志望しました。

現在の仕事内容を教えてください

私の所属する山之上浄水場は、1日約50,000㎡の水道水と約4,500㎡の工業用水を可成地域へ供給しています。いつでも安心安全で豊富な水道水と工業用水を供給するために、老朽化した施設と設備の更新や修繕の設計・監督を行っています。また災害時には関係機関との連絡調整や現場でのバルブ操作などを行っています。

働く環境についてはどう思われますか

入庁からの経験が浅く、2年が経過した今でもわからなかったことや困ったことがあります。周りの先輩や上司からアドバイスをいただける環境です。また施設・設備の設計・監督を務める中で普段の生活では見ることができない技術や仕組み、製品を知ることができ、日々新しい知識に触れられる環境でもあります。

今後実現したい夢はなんですか

今は経験や知識が浅く、周りの先輩や上司の方に助けていただければいいのですが、これからの一つ一つの経験を大切にしつつ、先輩方のような経験と知識が豊富で緊急時にも冷静に対応できるような職員になりたいです。

機械

水道事業に貢献していきたい、地域の方々から感謝されるような公務員になりたい



辻 高明

東部広域水道事務所

H30年 採用 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

前職では県外の民間企業で働いていましたが、地元である岐阜県に関わることのできる仕事をしたいと思うようになりました。岐阜県職員にも専攻していた機械職の募集があり、社会インフラである水道事業にやりがいを感じ志望しました。

現在の仕事内容を教えてください

私が勤務する東部広域水道事務所では、県内11市町の約50万人に水道水を供給しています。安心安全な水道水を安定供給するために、地震に強い送水管布設工事の設計・監督を行っています。機械分野だけでなく土木・電気・化学といった様々な分野が関連します。

仕事とプライベートをどのように両立されていますか

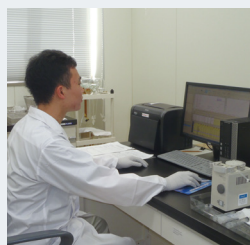
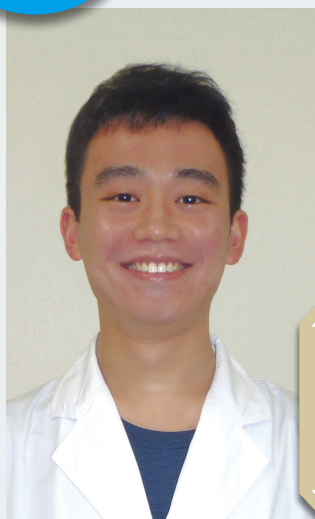
平時は定時退庁を心掛け、効率よく業務を行うように意識しています。また、年次休暇や夏季休暇に加え、ノー残業デーなどプライベートな時間を作るための制度を活用し、メリハリのある生活を送ることを心掛けています。

今後実現したい夢はなんですか

今後多くの経験を積んで社会インフラである水道事業に貢献していきたい、将来的に地域の方々から感謝されるような公務員になりたいです。

化学

研修や業務経験を積んでいき、岐阜県の水道事業をより良くしていける人材になりたい



竹腰 裕介

東部広域水道事務所

R2年 採用 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

私は、大学で化学を専攻しており、そこで学んだことを生かせる仕事をしたいと考えていました。また、小学校の自由研究では地元の川の研究をしていました。そこで、化学の知識を生かしつつ、興味を持てる仕事がないか探していたところ、水道水や河川水の水質検査や管理業務に携わる化学の募集があることを知り、岐阜県職員を志望しました。

現在の仕事内容を教えてください

現在、県内11市町の約50万人に水道水を供給する県営水道の水質管理をしています。水道法に定められる基準に適合しているかを確認するため、200項目以上の検査を、最新の分析機器を駆使して実施しています。また、水道の研究発表会や技術研修などに参加し、日々水道に関する知識を深めています。

働く環境についてはどう思われますか

私が働いている水質試験棟は、清潔で器具や機器等の整理もしっかりしてあるので、気持ちよく水質検査等の業務を行うことができます。また、業務で不明な点は先輩に教えてもらえ、分析技術や高度な分析機器の操作も指導してもらえるので、安心して業務に望むことができます。

今後実現したい夢はなんですか

まだ今の段階では、水道や水質に関する知識と経験が十分ではないのですが、研修や業務経験を積んでいき、岐阜県の水道事業をより良くしていける人材になりたいと考えています。

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

薬剤師

行政薬剤師として、
県民の方々の健康な生活の役に立ちたい



林 真由香

保健環境研究所

H21年 採用 県立多治見病院
H22年 薬務水道課
H24年 生活衛生課
H27年 岐阜保健所本棟・山県センター
H30年 農産園芸課
R 3年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

入庁前は、庁内で黙々と仕事をするイメージでしたが、実際には人と関わる機会が多い仕事だと感じました。職場では医師、獣医師、行政職など様々な職種と連携して業務を進めていますし、来庁者や関係先の方とコミュニケーションをとる機会も大変多いです。

現在の仕事内容を教えてください

医薬品・家庭用品の安全性確保と衛生害虫に関する検査・研究業務を担当する部署に所属しています。その中で、医薬品等公的試験検査機関の業務や、家庭用品に含まれる有害物質の検査、衛生害虫や特定外来生物の同定検査等、年間を通じて様々な業務に従事しています。

仕事とプライベートをどのように両立されていますか

育児休業からの復帰後、部分休業の制度を利用して勤務時間を短縮しています。業務は部署内でスケジュールを調整してから進めているので、上司や同僚からのサポートが得やすく、プライベートと両立しやすい環境です。

今後実現したい夢はなんですか

行政薬剤師として、県民の方々の健康な生活の役に立ちたいです。今までに薬事、食品、研究など色々な業務を担当してきました。これからも、担当業務に真面目に取り組み新しい知識、技能を身につけていきたいです。

管理栄養士

食を通じた健康づくりに取り組む県民を
一人でも増やすことが私の夢です



井藤 由唯

恵那保健所

H31年 採用 可茂保健所
R 3年 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

スポーツ栄養学に興味があり、大学では栄養学を学びました。学びを進める中で、個人はもちろん広く地域の方々を対象とできる公衆栄養の重要性を実感し、管理栄養士として地元である岐阜県に関わりたいと思い、この仕事を志望しました。

現在の仕事内容を教えてください

恵那保健所の健康増進課に所属し、集団給食施設における栄養管理向上のための個別指導や研修会の開催、栄養成分表示等の食品表示の相談対応や監視指導を行っています。また、県民の野菜摂取目標量350gを達成するため推進している「清流の国ぎふ」野菜ファーストプロジェクトでは、企業等と協働してイベントを開催し啓発を行っています。

働く環境についてはどう思われますか

入庁してからの経験が浅く、未だに分からないことや判断に困ることがありますが、上司や先輩には気軽に相談できる環境であり、アドバイスをいただきながら対応できています。また、保健所は多職種が集まり、県民の健康づくりをサポートするために多種多様な取り組みが行われており、自分がその一端を担っていると実感できる職場です。

今後実現したい夢はなんですか

県では「野菜ファースト」をキーワードに「清流の国ぎふ」野菜ファーストプロジェクトを推進しています。その存在を広く知ってもらい、いつもの食事にプラス野菜1皿食べるなどして食を通じた健康づくりに取り組む県民を一人でも増やすことが私の夢です。実現のための効果的な取組みを展開していけるよう多くの経験や知識を積んでいきたいです。

保健師

専門的知見を持って業務に臨み、
県民の健康寿命が全国1位につながれば嬉しい



小川 麻里子

保健医療課

H20年 採用 関保健所
H23年 教職員課
H26年 岐阜保健所
H30年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

入庁前は医療機関に勤務していました。生死が常に側にあり、身体的・精神的にハードでしたが、患者や家族一人一人の健康に向き合ってきました。入庁後は個人への支援から、県民といった幅広い対象者の健康の底上げのために、数年後、数十年後先の結果を予測しながら施策を考えることの難しさを目の当たりにしましたが、大変やりがいも感じました。

現在の仕事内容を教えてください

現在は健康増進分野に従事していますが、保健師が活動するどの分野においても保健指導が業とされており、県民の健康を保つうえで必要な事項を指し示し、法の目的とする医療や公衆衛生の普及向上を行うことが使命と感じています。県民自身が自らの健康課題を認識し、健康という自分の財産を自分で守ることができるよう仕事を進めています。

仕事とプライベートをどのように両立されていますか

仕事とプライベートは切っても切れない関係で、どちらも大切にしたいと思っています。両方を大切にすることが、良いバランスを保つ秘訣だと感じます。

今後実現したい夢はなんですか

仕事の出発点は県民であることを忘れず、県の実態に見合った施策を自信を持って行なっていくよう専門性を高め、専門的知見を持って業務に臨みたい。その結果として県民の健康寿命が全国1位につながれば嬉しいです。

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

獣医師

農家に頼ってもらえるような
獣医師になりたい



佐野 豊

東濃家畜保健衛生所

H31年 採用
飛騨家畜保健衛生所
R 2年 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

大学入学を機に岐阜県に移住し、岐阜県の魅力や県民の方々の温かさを感じながら日々を過ごしていました。その中で岐阜の畜産に興味を持ち、その現場で働きたいと思ったのが大きな理由です。岐阜県の家畜衛生に携わる仕事を通して、学生時代に感じた恩をしっかりと返せるよう頑張りたいと思います。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

私が入庁した平成31年は、豚の伝染病である豚熱が県内の農場で多発していました。防疫措置にも何度も従事しましたが、発生した農家のことを思うと毎回やるせない気持ちになりました。その中で10月に、養豚関係の方たちが待ち望んでいた豚熱のワクチン接種が始まり、初回に従事した際、農家から感謝されたことはとても記憶に残っています。

働く環境についてはどう思われますか

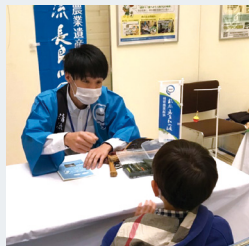
業務においては専門的な知識や技術を求められますが、農林水産省が主催する講習会や研修等に参加して、新しい知識と技術を習得することができます。また、周囲の職員の協力も得やすい環境の為、困難な仕事に当たっても、助け合いながら業務をこなすことができます。

今後実現したい夢はなんですか

農家に頼ってもらえるような獣医師になりたいと思っています。農家から信頼を得られるよう、日々の努力や誠実さを大切に頑張っていきたいと思っています。

水産

多くの方に身近な川や魚と
もっと触れ合ってもらえるようにしていきたい



下村 雄志

里川振興課

H29年 採用 水産研究所
R 2年 現所属

岐阜県の魅力は何だと思われますか

海拔0mの濃尾平野から標高3,000mの飛騨山脈まで広い県土を有しており、地域によって異なる文化や名産品は魅力的です。また、趣味が釣りである私にとって、日本有数の友釣り・渓流釣り漁場が存在し、魅力ある地域です。

現在の仕事内容を教えてください

里川振興課は、世界農業遺産「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承に関する業務や内水面漁業の振興に関する業務を行っています。私は、里川振興係に在席しており、県民に鮎や水産業、長良川流域文化等に触れ合う機会を提供するイベント等を実施しています。

働く環境についてはどう思われますか

県職員の仕事は幅広く、様々な業務があるため、分からない事や問題に直面することもあります。そのような時には経験豊富な先輩や上司に相談すると、良いアドバイスがいただけるので、一つの業務にひたむきに取り組むことができます。また、休みも取りやすく、プライベートも充実させることができます。

今後実現したい夢はなんですか

様々な分野で多くの知識・経験を積み、そこで得た経験を将来、岐阜県の水産業に還元したいと思っています。また、多くの方に身近な川や魚と もっと触れ合ってもらえるようにしていきたいです。

診療 放射線技師

診療放射線技師の役割を発信し、
行政で活躍できる場を作りたい



山内 亮

可茂保健所

H21年 採用
関保健所兼中濃保健所
H29年 西濃保健所
H30年 医療整備課
R 3年 現所属

入庁して考え方が変わったことはありますか

学生時代における診療放射線技師の実習は病院が主であり、行政としての役割を体験する機会はありませんでした。しかし、専門知識を持った診療放射線技師でなければ対応できない行政としての仕事も多くあり、活躍の場は臨床現場だけではないと実感しました。

現在の仕事内容を教えてください

エックス線撮影の他、医療監視(医療機関への立入検査)、院内感染対策(医療施設内での感染症拡大防止に関する仕事)、医療安全(医療施設における医療事故防止に関する仕事)、衛生統計(保健所公衆衛生年報、人口動態調査に関する仕事)、医療相談(県民からの医療に関する相談に対応する仕事)等、多岐に渡ります。

働く環境についてはどう思われますか

医療技術は日々進歩しており、放射線技術についても進歩しています。その技術を使用して医療を提供するためには、法的な整理、手続きを避けることはできません。関連法規を理解し、その手続きを担当することは容易ではありませんが、常にサポート、協力してくれる仲間の診療放射線技師がいる恵まれた環境です。

今後実現したい夢はなんですか

行政における診療放射線技師の役割を発信し、大学で学んだ知識と技術を備えた診療放射線技師が行政で活躍できる場を作ることです。

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

看護師・助産師

専任教員として、学生達を一人前の看護師・助産師として送り出していきたい



林 美香

衛生専門学校

R3年 採用 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

看護師・助産師の資格を活かし、学校教育に携わることができると考え、志願しました。母校である専門学校で働く機会を得て、懐かしさもありつつ、今の時代の学生を育成していくことへの期待と責任を感じながら、学校教育に携わっていきたく思います。

現在の仕事内容を教えてください

現在は、第一看護学科に所属し、専任教員養成講習会に参加しています。期間は9か月間で、専任教員になる為の学習や実際の看護学校に教育実習に行くなど、より実践に近い状態で研修を行っており、研修終了後からは、専任教員として実際に学校で授業や演習などを行っていくこととなります。

困難な事例があったときにどうやって解決されましたか

教員の経験がないため、不慣れなことも多くありますが、その都度、先輩教員や上司に相談し、解決するようにしています。多忙な中でも、困ったことがあれば、丁寧に教えてくださり、安心して業務を行うことができています。研修中は、同期と試行錯誤しながら解決しています。職場は違えど、同じ志を持った仲間がいることは心の励みになります。

今後実現したい夢はなんですか

専任教員として、学生と信頼関係を築きながら育成し、その学生達を一人前の看護師・助産師として送り出していきたいです。

警察行政

幅広い知識を身に付け、どんな事例にも対応できる人材を目指します



加藤 夕貴

会計課

H31年 採用 郡上警察署
R 3年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

岐阜県職員の中でも、警察行政と聞くと、どんな仕事をするのか不明瞭な部分が多いかと思われます。採用後は警察官と共に警察学校に入校しますが、それもいい経験になりました。警察行政は、警察運営に必要な多種多様な業務に携わる機会があり、警察本部や警察署への異動もありますので、環境の変化は大きいですが、面白みの一つでもあります。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

警察署で働いていた時は、拾得物業務をはじめ、県民の方々と接する機会が多かったです。そんな中で、失くした落し物が見つかり喜んでいただける姿や、落し物を拾って届けてくださる姿には、何度も心が温かくなりました。

仕事とプライベートをどのように両立されていますか

職場全体で、年次休暇や特別休暇等、積極的な休暇取得の促進を行っており、オンとオフをはっきりさせ、働くことができています。休日は、趣味の時間や、友人や家族との時間を過ごし、とてもリラックスできています。

今後実現したい夢はなんですか

岐阜県の安全・安心を守る警察の仕事が滞りなく進むよう、会計業務をはじめ、幅広い知識を身に付け、どんな事例にも対応できる人材を目指します。

小中学校等事務職員

県内全域の事務職員と協力しながら、より一層学校経営に参画できるよう取り組みたい



澤田 和磨

可児市立今渡北小学校

H31年 採用 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

以前から教育の分野に興味があり、学校で唯一の行政職として前職(市役所職員)の経験を活かした仕事ができないかと思い志望しました。実際の勤務では、決まった業務以外に、企画・提案などのプレゼンや、校内設備の軽微な修繕など、自ら考えて行動することが多く、想像以上に多方面で学校を支える仕事だと感じています。

仕事をする上で大切にしている考え方やポリシーを教えてください

計算や文書の作成など正確性が求められるため、何が根拠になるかを考えながら自分の答えが出せるようにしています。また、コミュニケーションも大切にしています。教職員、児童、保護者や周りの学校事務職員とも日ごろから何気ない会話など、自ら進んで関わることで自分の仕事が円滑にできていると感じています。

困難な事例があったときにどうやって解決されましたか

問題の原因と解決策を考え、まずは自ら行動するようにしています。先生から「Wi-Fiが使えない教室がある」と相談を持ち掛けられた時は、教育委員会と連携し、ケーブルの配線など行い環境を整えました。一人で解決できない事例は、悩まずに周りの人に相談をすることで、自分にはない発想と経験から、早く解決することができました。

今後実現したい夢はなんですか

事務職員には保護者や地域住民、関係機関との連携などが以前にも増して求められています。コミュニケーションを活かし、県内全域の事務職員と協力しながら、より一層学校経営に参画できるよう取り組みたいです。